

4. 環境保全の基本方針と整備目標

柏崎市では、3つの基本方針を定め、それぞれ整備目標を定めました。

○環境保全の基本方針 1《自然環境》 ・ 農村を取りまく自然環境と生態系の保全

- 四季折々の豊かな自然に適應した農村環境づくりの推進と美しい農村景観の保全
- 農業の源である「水」、「土」、「雪」などの資源の確保・保全と活用
- 農業農村が持つ多面的機能を発揮した地域の環境保全と地域防災力の強化
- 農村に住む動植物の生態系の保全

○環境保全の基本方針 2《社会環境》 ・ 活力ある農村環境整備の推進

- 若者の農業への定着を促進する住環境や農業生産環境の整備
- 農業や農村に伝わる技術、文化や祭りの継承による地域の活性化
- 都市住民と農業者の交流促進による農村の活性化
- 中山間地での害虫被害の把握と対策の推進

○環境保全の基本方針 3《生産環境》 ・ 環境に配慮した新しい農業の推進

- 農業基盤の整備による農地の保全と農業生産コストの低減
- 担い手不足解消のための多様な農業者による農業への参画
- 質の高い農産物の生産やブランド化による市場の拡大
- 地産地消の推進などによる食の安全の確保
- 鳥獣被害対策による農作物や農地の確保

5. 今後の展開

今後は、柏崎市農村環境計画を踏まえて、公共事業を実施する際には、生産基盤の整備とともに、生物多様性の保全や良好な景観の形成などの環境保全、環境配慮の一層の充実を図る取り組みを推進します。

6. これまでの取り組み

《市民の意識調査のためのアンケートの実施》

平成24年2月に、市内の中学一年生340人と成人1,584人を対象に実施。

《策定検討委員会の開催》

学識経験者や農業関係者、各種団体の代表者で構成し、完成までに5回開催。



お問い合わせ先：柏崎市産業振興部農林水産課

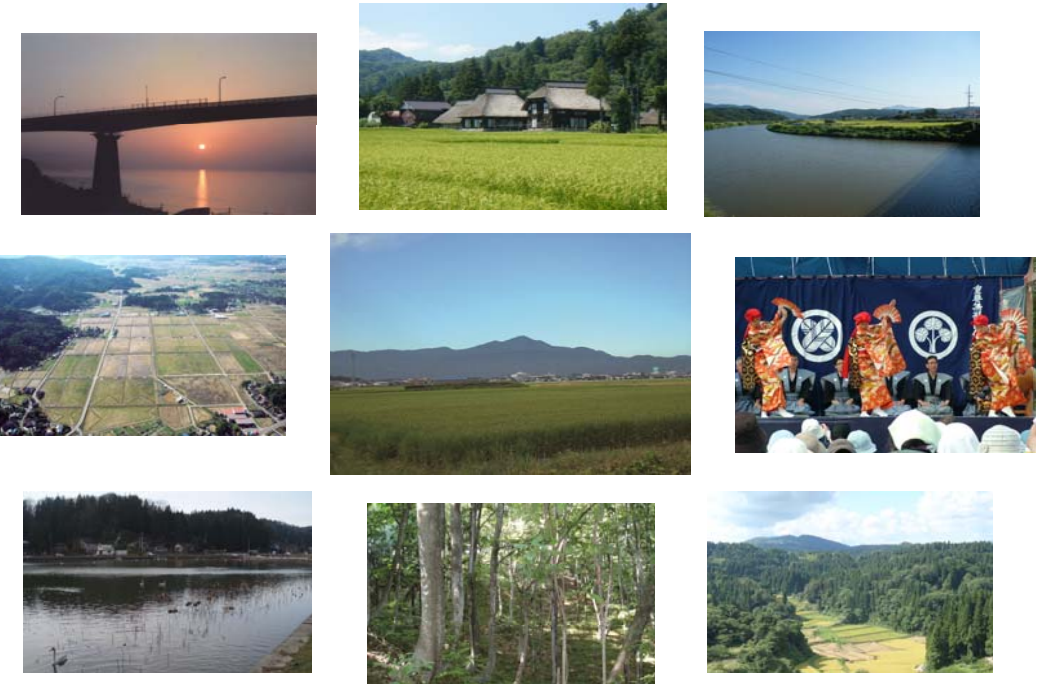
〒945-8511 新潟県柏崎市中央町5番50号

TEL：0257-21-2300 / FAX：0257-24-7714

メールアドレス：nourin@city.kashiwazaki.niigata.jp

柏崎市農村環境計画 概要版

刈羽三山・日本海に包まれた豊かな自然と共生するまち 柏崎



1. 農村環境計画の目的

農村環境計画の目的は、農村地域（主に農業振興地域）において展開される農業農村に関わる事業等において、環境配慮や環境保全が適切に行われるための目標や方針を示すことです。ただし、「環境」という概念は一部地域に限定されず、広く市域全体に関わるものであることから、現況環境の調査対象範囲は柏崎市の全域を対象としています。

2. 農村環境計画の活用

農村環境計画は、農村地域の環境保全対策を図ると共に、農業生産の基盤と農村の生活環境の整備を通じて、「農村の振興」「農業の持続的な発展」「多面的機能の十分な発揮」「食料の安定供給の確保」のために活用されます。

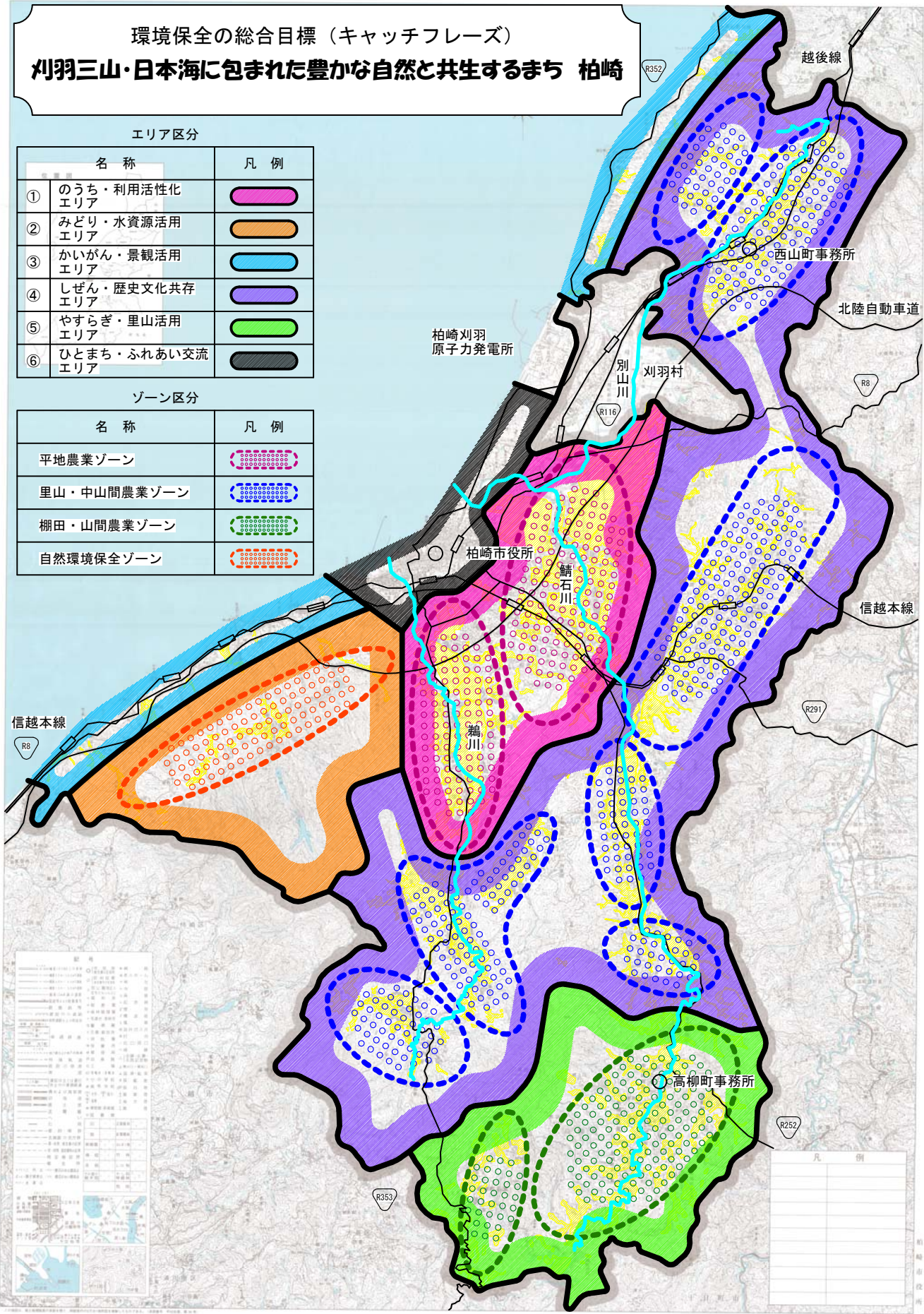
農村の振興
農業の発展の基盤として
●農業の生産条件の整備
●生活環境の整備等福祉の向上

農業の持続的な発展
●農地、水、担い手等の生産要素の確保と望ましい農業構造の確立
●自然循環機能の維持増進

多面的機能の十分な発揮
●国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等

食料の安定供給の確保
●良質な食料の合理的な価格での安定供給
●不測時の食料安全保障

3. 農村環境計画の総合目標、各エリア・ゾーンにおける整備目標及び取り組み



各エリアの主な整備目標

- 【のうち・利用活性化エリア】
- 農業農村が持つ多面的機能を発揮した地域の環境保全と地域防災力の強化
 - 農業基盤の整備による農地の保全と農業生産コストの低減
 - 質の高い農産物の生産やブランド化による市場の拡大

- 【しぜん・歴史文化共存エリア】
- 農村に住む動植物の生態系の保全
 - 農業や農村に伝わる技術、文化や祭りの継承による地域の活性化
 - 農業基盤の整備による農地の保全と農業生産コストの低減
 - 担い手不足解消のための多様な農業者による農業への参画
 - 中山間地での害虫被害の把握と対策の推進

- 【やすらぎ・里山活用エリア】
- 農業農村が持つ多面的機能を発揮した地域の環境保全と地域防災力の強化
 - 都市住民と農業者の交流促進による農村の活性化
 - 鳥獣被害対策による農作物や農地の確保

- 【みどり・水資源活用エリア】
- 農業の源である「水」、「土」、「雪」などの資源の確保・保全と活用
 - 鳥獣被害対策による農作物や農地の確保

- 【かがん・景観活用エリア】
- 四季折々の豊かな自然に適応した農村環境づくりの推進と美しい農村景観の保全

- 【ひとまち・ふれあい交流エリア】
- 都市住民と農業者の交流促進による農村の活性化
 - 地産地消の推進などによる食の安全の確保

各ゾーンの主な取り組み

- 【平地農業ゾーン】
- 適切な農地の保全・管理による「田んぼダム」などの取り組み推進、地域防災力の強化
 - 「大区画ほ場整備の推進」などによる環境保全型農業に配慮した高生産性ほ場の拡大・保全
 - 「越路早生」などの柏崎ブランド米の確立と市場拡大

- 【里山・中山間農業ゾーン】
- 「田んぼの学校」などの取り組みによる地域の特性を活かした農村の活性化
 - 「綾子舞現地公開」などによる歴史・文化等の多様な農村資源の維持・管理
 - 「不作付農地の解消」を図る地域の特性に合わせた適切なほ場整備の推進
 - 中山間地での「害虫被害」の把握

- 【棚田・山間農業ゾーン】
- 「棚田サポーター」などの活動による棚田の維持、里山景観の保全
 - 「かやぶきの里」などの田舎体験を活かした都市住民と農村部の交流促進、農産物の流通拡大
 - 「電気柵」などによるイノシシ被害対策の取り組み推進
 - 山間地での「害虫被害」の把握

- 【自然環境保全ゾーン】
- 「谷根川さけの森づくり」の活動などによるブナ林などの森林保全と河川の適切な維持・管理
 - 「電気柵」などによるイノシシ被害対策の取り組み推進